

(様式第2号)

事業所名 グループホーム つばき

目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 平成 31 年 3月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員の入れ替わりもあり、地域密着型施設としての役割について理解を深める必要がある。又、サービスの質向上と地域貢献事業を行って行く必要がある。	外部評価の資料を使い勉強会を年に2回以上実施する。	外部評価の資料を使い、部長と主任がGH職員に向け勉強会を行う。	12ヶ月
2	2	職員の入れ替わりもあり、地域密着型施設としての役割を深める必要がある。又、サービスの質向上と地域貢献事業を行って行く必要がある。	勉強会実施後、グループホームの役割を2つ以上見つけ出し、その役割を果たす為の取り組みを行う。	勉強会後に、職員で役割を見つけ出し、計画を立てて実行していく。	24ヶ月
3	3	職員の入れ替わりもあり、地域密着型施設としての役割を深める必要がある。又、サービスの質向上と地域貢献事業を行って行く必要がある。	各担当者で、年2回以上個人の望みをかなえる支援を行う。	各居室担当で、本人様からの聞き取りを行い、要望に沿った支援をご家族や地域の協力を受けながら行う。	12ヶ月
4	4	認知症サポーター講習の依頼が増加しているが、メンバーが不足している。	キャラバンメイトや講座に協力してくれるメンバーを増やす。	キャラバンメイトやメンバーを施設内や地域に募り、職員を育てて行く。	12ヶ月
5					ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。